



宮古市  
Miyako City

# 市道末広町線無電柱化推進事業 事業概要書



浄土ヶ浜  
いいいろ  
1116

浄土ヶ浜 エターナルグリーン



三陸復興国立公園「浄土ヶ浜」

# 市道末広町線無電柱化推進事業



- ① 道路空間の再配分による歩行空間の確保
- ② 段差や電柱など障害物のない歩きやすい道路
- ③ 車道をスラロームさせ走行速度を抑制
- ④ 景観性と安全性の識別に優れた舗装での整備

## 事業のポイント



## 概要

市の中心市街地に位置し商店街を通る市道末広町線は、日常的に歩行者や自転車も多く通行する通りです。

通りでは夏・秋のまつりや、GW 期間のイベントなど、様々な地域主体のイベントが実施されています。

東日本大震災からの復興事業に伴う都市構造の急激な変化、少子高齢化・人口減少の進行などにより、市を取り巻く環境は大きく変化するなか、中心市街地では、一層の賑わい創出が求められており、東西方向の回遊路として、歩行環境の改善が必要となっています。

このため、本路線の一部区間を終日一方通行化とスラローム化、美装化等により、安全で快適な歩行空間を確保するため整備したものです。

## 基本情報

- ・路線名 : 市道末広町線
- ・区間 : 宮古市末広町～大通一丁目地内
- ・延長 : 0.47km
- ・道路規格 : 第4種2級
- ・幅員 : 9.0m～11.0m
- ・設計速度 : 30km/h
- ・電柱本数 : 28本
- ・検討体制 : 市道末広町線整備基本計画策定協議会  
(委員長 植田真弘 (岩手県立大学教授))
- ・事業年度 : 平成30年度～令和6年度
- ・用途地域 : 商業地域
- ・事業者 : 宮古市

## 事業の特徴

- ・道路の性格 : 中心市街地のメインストリート
- ・沿道特性 : 商業・業務系
- ・事業主体 : 宮古市
- ・事業手法 : 無電柱化推進計画補助 (国交省) 等
- ・事業費 : 1,291百万円
- ・背景・目的 : 車から人中心の道路への転換  
安全・安心な通行空間確保  
まちの賑わい魅力の創出
- ・手段 : 終日一方通行化  
空間再配分
- ・事業内容 : 幅員再構成  
舗装の美装化  
無電柱化
- ・事業効果 : 安全・快適な歩行空間確保  
防災性の向上  
道路景観の向上
- ・波及効果 : 地域回遊性の向上

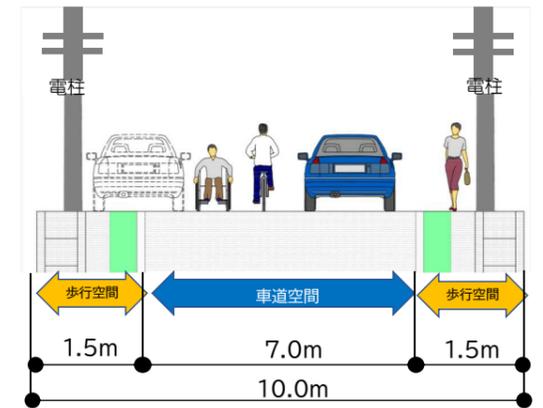


▲位置図

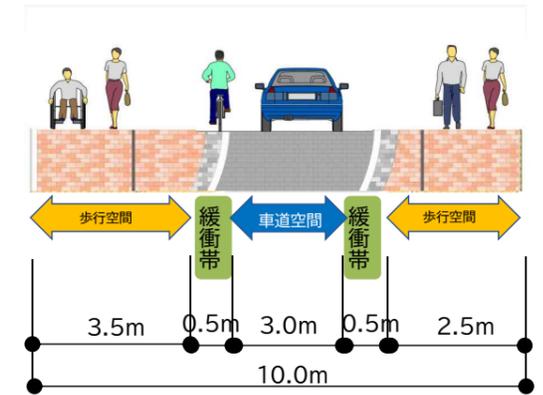
## BEFORE



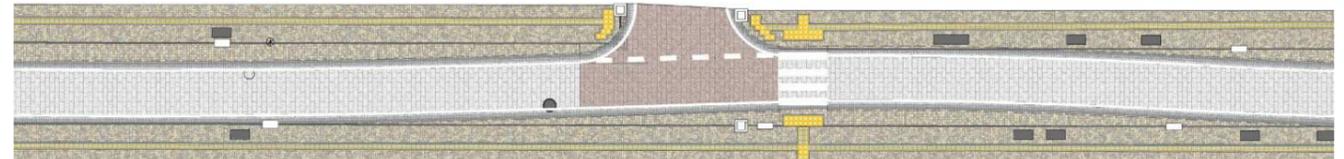
## SECTION



## AFTER



## PLAN



▲街灯は景観を損ねることなく、飽きの来ない形状



▲舗装はまちの雰囲気と調和する自然豊かなアースカラー

## 背景・目的

・復興道路・復興支援道路の整備による道路ネットワークの強化に伴い通過交通が幹線道路にシフトされ、中心市街地に流入する交通量は2030年には、2014年と比べ5分の1に減少すると推計されています。

・このため、中心市街地の道路については、これまでのクルマ重視から、歩行者・自転車・公共交通を優先した、まちの賑わいや魅力の創出につながる道路へと方針を転換しました。

・なかでも市道末広町線は、中心市街地の商店街を通る重要な道路であるため、魅力あるまちとして賑わい強化につなげていくためには、地域住民との合意形成を図りつつ、歩行者を優先した安全・安心、かつ快適な道路として整備を進めていく必要があります。

## 実施体制

・市道末広町線整備基本計画策定協議会  
宮古市、有識者、商店街、関係機関からなる協議会を設置し、整備方針や整備計画案（道路の形状、一方通行規制変更等）について協議しました。

・交通社会実験  
10日間に渡って交通社会実験を実施し、現地に計画を再現し検証を行いました。その中で判明した課題を修正し、計画の精度を高めていきました。

・アンケートによる道路デザイン決定  
デザインの決定はWEBとシール貼り付け投票により決定しました。投票総数1100票

令和7年4月供用開始予定の市道末広町線の道路デザインを皆様の投票によって決定します！！  
市道末広町線 無電柱化事業 **道路デザイン投票**  
デザイン候補 以下の2つの中からどちらかにご投票ください！！  
A やさしく温かみのある通り B シンプルで洗練されたストリート  
投票期間 6月10日(土)～6月19日(月) 担当 宮古市建設課工務第二係

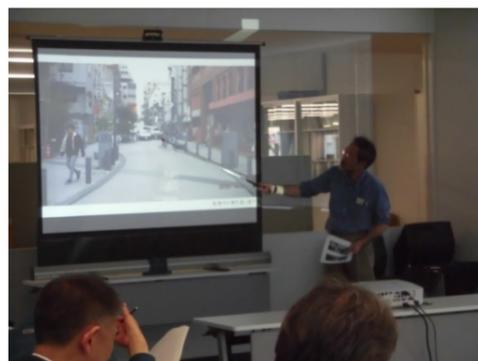
末広町線道路デザイン投票 集計結果 (投票期間6/10～19)

デザイン	A	B
①WEB	513	312
②シール	178	97
計	691	409
割合	63%	37%

年度	経緯
平成30年度	市道末広町線整備基本計画策定協議会設立
令和元年度	交通社会実験実施
令和2年度	基本計画策定 宮古市無電柱化推進計画策定 本体工事着手
令和5年度	本体工事完成 アンケートによる道路デザイン決定
令和6年度	電力、通信ケーブル入溝と電柱抜柱完了 街灯設置・舗装完成



▲第1回計画策定協議会



▲第3回まちづくり部会 (事例紹介)



▲交通社会実験スラローム設置  
(令和元年度 道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)公募(国交省)を活用)

## 整備内容

・交通規制の変更・スラローム車道  
歩行者優先の快適な回遊路の形成を目指し、一方通行化により車道空間を制限し、歩行空間を拡幅。また、通行車両の速度抑制を目的としたスラロームの車道線形を採用



▲逆走対策



▲スラローム

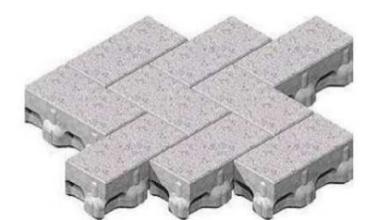
・歩車道の一体化  
道路空間を利用したイベント開催も考慮し、歩車道境界に段差の無いフラットな構造  
また、舗装材を大型車の荷重に耐え連結構造耐力に優れたインターロッキングブロックを採用



▲段差のないフラット構造



▲大型車(バス等)の荷重に対応



▲連結構造耐力に優れたインターロッキングブロック

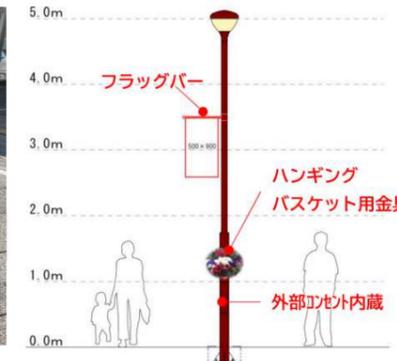
### ・その他

<緩衝帯とリブ付き区画線>  
クルマと歩行者との接近対策及び歩行空間へのほみだし防止対策として採用



▲緩衝帯とリブ付き区画線

<道路街灯>  
新設した33基の街灯にはイベント等での活用を見据え、外部電源等を付属



▲街灯イメージ

<地上機器ラッピング>  
すべての地上機器は路外に設置  
観光資源や市街地マップなどの情報を機器本体にラッピング



▲ラッピング(市内の景勝地)

## 地域による利活用

<末広町商店街振興組合による取り組み>



▲ハンギングバスケットの設置と外部コンセント使用レクチャー



▲大漁旗をモチーフにしたフラッグ設置



▲外部電源を活用したイルミネーション設置





宮古市  
Miyako City

浄土ヶ浜  
いいいろ  
1116

浄土ヶ浜 エターナルグリーン



三陸復興国立公園「浄土ヶ浜」

宮古市役所 都市整備部 建設課  
〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目1番30号  
TEL 0193-62-2111